



2013年3月

各位

一般社団法人半導体産業人協会

理事長 牧本 次生

講演企画委員長 溝上 裕夫

関西地区委員長 田中 俊行

文化活動委員長 野澤 滋為

第13回半導体産業人協会シンポジウムのご案内

「ミニマルファブ」は多品種少量生産に向けた次世代半導体生産システムとして提案され、2012年に国家プロジェクトがスタートしました。その構想と最新の開発状況について技術研究組合専務理事 久保内講一氏による基調講演と、ミニマルファブは今後の半導体業界にどのような変革をもたらすか？専門各位によるパネルディスカッションを行います。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

日時:5月22日(水) 13:30-17:00

場所:グランキューブ大阪(大阪国際会議場)リーガロイヤルホテル隣 12階 1202会議室

主催:一般社団法人半導体産業人協会

参加費用:個人会員・賛助会員 5,000円

非会員 8,000円

当日現金払い(領収証発行いたします)

同時開催の懇親会、ゴルフ会については別紙を参照願います。

【会場案内】

- JR「大阪駅」バスターミナルから、市バス(53系統船津橋行)または(幹55系統鶴町四行)で約15分「堂島大橋」バス停下車すぐ
JR大阪環状線「福島駅」、JR東西線「新福島駅」(2番出口)、阪神電鉄「福島駅」、大阪市営地下鉄(中央線・千日前線)「阿波座」(中央線1号出口・千日前線9号出口)
上記各駅よりそれぞれ徒歩約10分
- JR「大阪駅」北側西寄りから「リーガロイヤルホテル」行きシャトルバスが、運行しております。このバスは「リーガロイヤルホテル」とJR「大阪駅」、地下鉄・京阪「淀屋橋駅」西詰の間で運行しており、ご利用いただけます。



***** 参加申込書 *****

ご参加申し込みは下記あてに e-mail, 電話、FAXいずれかの方法で、ご氏名、ご所属、ご連絡先をお知らせください。その際、会員、非会員の別をご連絡ください。

お名前 :

ご所属 :

ご連絡先:

参加するものに○印をお付け下さい: SSIS シンポジウム[]、懇親会[]、ゴルフ会[]

SSIS 会員・非会員別(賛助会員社員は会員です) : 会員[]、非会員[]

【プログラム】

13:30 開会挨拶

半導体産業人協会 理事長

牧本 次生 氏

13:40 基調講演

ミニマルファブ構想の現状と今後の展開

ミニマルファブ技術研究組合

久保内講一 氏

「ミニマルファブ構想」は21世紀型生産システム構築を目指して、産総研コンソーシアム・ファブシステム研究会が先導し、2012年に国家プロジェクトがスタートしました。これはほとんど全てのデバイス1個のサイズをカバーする0.5インチウエハを製造単位として、幅30cmの装置を開発し、かつ局所クリーン化技術でクリーンルームを不要とすることで、設備投資と運用経費を大幅に削減する超小型製造システム（ミニマルファブ）を実現するものです。講演ではその構想と最新の開発状況、国家プロジェクトの受皿である技術研究組合の活動状況も交えながら今後の展開をお話しします。

14:50 休憩

15:00 -17:00 パネルディスカッション

日本発の次世代半導体システム「ミニマルファブ」の将来展望

パネリスト

ミニマルファブ技術研究組合

久保内講一氏

九州大学システム情報科学研究院

浅野種正氏

福岡県産業・科学技術振興財団

大津留榮佐久氏

ティーイーアイソリューションズ

池田修二氏

モデレーター

(独) 産業技術総合研究所

井上道弘氏

「ミニマルファブ構想」の実現を目指して、2010年にファブシステム研究会が立ち上げられ、昨年には国家プロジェクトがスタートしました。以来、ミニマルファブの構想はいろいろな機会を捉えて解説されてきましたが、これまで大量生産を目指して進化してきた半導体生産システムと考え方が大きく異なるため、その将来性に十分な理解が得られているとは言えません。本構想についての久保内氏の基調講演を踏まえ、各界の専門の方々にミニマルファブの将来展望について語って頂くと共に、会場の皆様も交えたディスカッションを行います。